

土木学会 原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会（第2期）

第4回小委員会 議事録

1. 日時：2024年12月2日（月）10:00-12:00
2. 場所：Zoom によるオンライン会議
3. 出席者：奈良委員長、荒川委員、桑垣委員、堀口委員、松村幹事長、蛭沢常時参加者、  
武田常時参加者
4. 資料  
資料1 研究討論会会議（第1回）兼第3回小委員会 議事録（案）（松村幹事長）  
資料2 リスクコミュニケーション小委員会（第2期）活動報告（案）（2024年12月20日原子力土木委員会資料案、松村幹事長）

5. 議事要旨

9月の研究討論会の後、初めてとなる今回の小委員会では、研究討論会の振り返り、12月20日に開催される原子力土木委員会への報告内容の確認を行った上で、今後のインタビュー調査に向けた具体的な協議を行った。

原子力土木委員会への報告については、今回の小委員会の議論を踏まえて、幹事長作成の案に研究討論会の概要などを加筆し、資料とすることとなった。

インタビュー調査については、参加者全員で関連情報の共有や意見交換を行い、インタビューの準備の進め方やインタビュー先、時期等の方向を決めていった。具体的には、原子力土木委員会委員へのアンケート調査（発信したい事項、対話したい事項、ならびに課題に関する専門家の意見集約）の結果などに基づいて、インタビューガイド（質問項目等）を作成していくとともに、プレディスカッションの位置づけで、市民と行政それぞれ1名の方へのインタビューを2025年2月頃までに実施する。実施の際には、複合防災小委員会との連携を図りつつ、災害時のリスクコミュニケーションに関する情報も合わせて収集する方向とした。

なお、次年度以降の小委員会の活動についても議論し、次のステップとして成果の社会実装や中堅・若手の支援などの課題が考えられ、インタビュー調査と連動した検討が望ましく、適当な時期に、活動期間の延長（2年間）を申請していくこととした。

6. 今後の予定

今後はメールベースで、インタビューガイドの議論、インタビュー先との調整を行っていく。次回小委員会は3月頃を予定する。

以上